

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管局・部・課	保健福祉局保健衛生部保健衛生課
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

1 指定概要

指定管理施設	名 称	北九州市立東部斎場	施設類型	目的・機能
	所 在 地	北九州市門司区大字猿喰1342-8	I	⑦
	設置目的	ご遺族の宗教的感情に適合し、公衆衛生その他公共の福祉の見地から、支障なく火葬を行うとともに、故人を安らかに見送る最後の場所を提供することを目的とする。		
利用料金制の状況		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制		
指定管理者	名 称	株式会社五輪		
	所 在 地	富山県富山市奥田新町12番3号		
指定管理業務の内容		・ 斎場の維持管理業務 ・ 斎場の運営業務 ・ 火葬場の施設維持管理業務 ・ 火葬場の予約・受付業務 ・ 火葬業務（炉前業務・炉裏御業務） ・ 有料施設の使用許可業務 ・ 有料施設の使用料及び証明手数料の徴収、収納業務等		
指定期間		令和7年4月1日～令和12年3月31日		

【参考：評価レベル】

評価レベル	乗 率		評価レベルの考え方
5	100%	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営がなされている
4	80%		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営がなされている
3	60%	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営がなされている
2	40%		要求水準・目標・計画を下回る管理運営がなされている
1	20%		要求水準・目標・計画を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

2 評価結果

評価項目	指定管理者 の自己評価	市（所管局） の評価	市（所管局）の評価理由 ※指定管理者の自己評価との 相違理由 など	配点	得点 (評価結果)
	(評価レベル：0～5)			(100点満点)	
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み				50	40
(1) 施設の設置目的 の達成	4	4	事故やトラブルもなく安定的に 運営していることに加え、HPの開 設やフリーWi-Fiの整備、コンシ ェルジュの配置など、利便性向上 を図る取組が評価出来る。	30	24
(2) 利用者の満足度	4	4	利用者満足度で96.9%と高い評 価を得ており、景観面に加え、接 遇面や衛生面で高い評価を受け ている。QRコードを活用したオン ラインアンケートの導入など、回 答数増加に向けた取組も評価出 来る。	20	16
2 効率性の向上等に関する取組み				15	12
(1) 経費の低減等	4	4	火葬時におけるガス使用量の適 正化や空調の設定温度見直し等 の各種取組で水光熱使用量の節 減に努めており、自己評価も妥当 である。	15	12
(2) 収入の増加	—	—	—	—	—
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み				35	24
(1) 施設の管理運営 (指定管理業務) の実施状況	4	4	人員配置や研修等による職員の 資質向上の取組が優れている。特 に他斎場との相互研修により、サ ービス向上に加え、有事の際のバ ックアップ体制の構築に努めて いる点は評価出来る。	15	12
(2) 平等利用、安全 対策、危機管理体制 など	3	3	個人情報保護や危機管理体制の 構築に努めており、自己評価も妥 当である。	20	12
【参考：総合評価ランク】 A：優れていると認められる（80点以上） B：やや優れていると認められる（70点以上80点未満） C：適正であると認められる（60点以上70点未満） D：努力が必要であると認められる（50点以上60点未満） E：かなりの努力が必要であると認められる（50点未満）				合 計	100
				総合評価ランク (A～E)	
				B	

【総合評価】 ※指定管理者の特筆すべき功績及び努力を求める点等を踏まえ、総括的に記入してください。

指定管理初年度ながら、滞りなく火葬を実施しており、利用者が故人との最後のお別れを安心して迎えられている点は評価出来る。

フリーWi-Fi の整備やコンシェルジュの配置など、利便性向上に向けた取り組みを事業計画に沿って着実に実施している。

利用者満足度が96.9%と非常に高く、利用者目線にたった施設運営が行われているといえる。また、QRコードを活用したオンラインアンケートを導入するなど、アンケート回収率アップのために工夫している。一方、葬祭事業者向けアンケートについては、満足度は高いものの、回答数が低水準のため、増加に向けた更なる取り組みを期待する。

経費の節減に向けた取組として、火葬時におけるガス使用量の適正化や空調の設定温度見直し等を行った結果、直営時と比較して、水光熱使用量が低減している点は評価できる。

多様な研修で職員の資質に向上に努めるとともに、他斎場との相互研修の実施により、業務の平準化や有事の際のバックアップ体制の構築にもつなげるなど、会社の規模を活かした特色ある取組を実施している。

【北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見】

適正に評価されている。

引き続き市と指定管理者と協働で、市民サービスのより良い向上に向けて連携していただきたい。

1年目に実施できなかった企画提案事業についても着実に達成し、質の高い管理運営を維持・向上させることを期待する。

<参考> 現指定期間中の評価結果

区 分	R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)	平 均
評価結果 (合計得点)	76	—	—	—	—	76

※高評価のインセンティブ（更新制）について

- ▶1～3年目の平均点が75点以上の指定管理者（指定期間5年間の事業者に限る）について、1期に限り指定の更新（+5年間）を認めるもの。

※低評価のペナルティ（次期選定時の減点）について

- ▶最終年度を除く全指定期間中の平均点が59点以下の指定管理者について、同指定管理施設の次期選定時の審査において減点（総合得点から10点または15点をマイナス）するもの。

事業報告書（指定管理者による自己評価）

1 指定管理施設及び指定管理者の概要

指定管理施設	名 称	北九州市立東部斎場
	所 在 地	北九州市門司区大字猿喰 1 3 4 2 - 8
指定管理者 (自己評価者)	名 称	株式会社五輪
	所 在 地	富山県富山市奥田新町 1 2 番 3 号
指定期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 1 2 年 3 月 3 1 日
事業報告（自己評価）の 対象期間		令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日

2 企画提案事業・自主事業の実施状況（対象：自己評価の対象期間）

企画提案事業	応募時提案 (□にレ点)	実施の有無 (○・×)	備 考 (補足説明等)
東部斎場ホームページ開設	☒	○	
フリーWi-Fi 設置	☒	○	
子ども図書館の設置	☒	×	安全性や場所の検討中。
一人一花運動	☒	○	
デジタルサイネージによる施設等案内	☒	×	設置済みではあるが、ソフト運用に至っていない。
コンシェルジュサービス職員の配置	☒	○	
火葬状況進行の小型モニター設置	☒	×	設置位置や視認性の検討中。
自主事業	応募時提案 (□にレ点)	実施の有無 (○・×)	備 考 (補足説明等)
自販機運営事業	☒	○	
レストラン運営事業	☒	○	
	☐		
	☐		
	☐		

※応募・申請時の提案書や毎年度の事業計画書等に記載の事業を記入してください。

3 自己評価結果

評価項目及び評価のポイント							自己評価
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み							4
(1) 施設の設置目的の達成						評価レベル (0～5)	
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。							
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。							
③ 計画に基づき、施設の利便性を維持・向上するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。							
[評価の理由、要因・原因分析]							
①・令和7年度は、再火葬を含む総火葬件数 6,755 件に適切に対応し、事故なく安定した施設運営を行った。また、証明書発行 326 件、有料待合室貸出 440 件、胞衣炉使用許可 192 件など、利用者ニーズに応じた各種業務を円滑に実施した。 ・施設運営、施設管理の徹底により、利用者事故、火葬炉事故、施設設備事故の発生件数は 0 件であった。							
【火葬件数】 (単位：件)							
	R6 年度 (指定管理導入前)	R7 年度 (1 年目)	R8 年度 (2 年目)	R9 年度 (3 年目)	R10 年度 (4 年目)	R11 年度 (5 年目)	
東部斎場	7,038	6,755					
※ R7 ・・・評価対象年度							
【事故発生件数】 (単位：件)							
	目標件数	R7 年度 (1 年目)	R8 年度 (2 年目)	R9 年度 (3 年目)	R10 年度 (4 年目)	R11 年度 (5 年目)	
利用者事故	0	0					
火葬炉事故	0	0					
施設設備事故	0	0					
※ R7 ・・・評価対象年度							
②・効果的な営業・広報活動として、ホームページの開設により施設案内や利用料金等の情報発信を行うとともに、問い合わせフォームを通じて利用者意見の把握に努めた。 R7 年度のホームページアクセス(表示)回数は 13,329 回であった。							
③・利便性の維持・向上として、フリーWi-Fi の整備、一人一花運動の実施、AED2 台の設置や貸出サービス(歩行補助用具等)の充実により、利便性、安全性、快適性の向上を図							

- った。また、待合棟にはコンシェルジュを配置し、高齢者や身体が不自由な方へのサポートやフリーWi-Fiへの接続支援も行った。
- ・令和7年度に実施予定であったデジタルサイネージの運用、子ども図書館の設置、火葬状況の情報共有を行うための小型モニターの設置については、コンテンツ内容の精査と安全性の検証を行うため、令和8年度に実施予定とした。
 - ・自主事業として、自販機運営およびレストラン運営を行っており、利用者サービスの充実に寄与した。

(2) 利用者の満足度

評価レベル
(0～5)

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

4

【評価の理由、要因・原因分析】

- ①・利用者アンケートの回答数は161件で、目標値100件を上回った。回答数増に向けて、紙によるアンケート調査に加え、QRコードを活用したオンラインアンケートを行った。当初はオンラインアンケートの回答が伸び悩んだが、待合スペースへの案内掲示や職員・葬祭事業者による声掛けを強化したことで、回答数の増加につながった。
- ・利用者満足度は96.9%で、目標値90%を上回っており、高い評価が得られた。「花壇の手入れが行き届いている」といった景観面での評価に加え、「気配り、目配り、心配りの三配りが出来ている」、「掃除がいきとどいている」など、接遇面、衛生面についても評価の声をいただいている。
- また、葬祭事業者向けアンケートの満足度も95.6%と高水準であったが、回答数が14と低水準であった。今後も回答数向上のため、周知方法の工夫を継続する。
- ②・利用者アンケートやホームページの問い合わせフォームで寄せられた意見については、速やかに職員ミーティングで共有し、改善が必要な事項には適切に反映した。これにより、清掃チェックの強化やホームページの充実等につながっている。

【利用者へのアンケート結果：満足度】

【満足度】	R6年度 (指定管理導入前)	R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)
目標値	－%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
実績	－%	96.9%				
有効回答数	－人	161人				

※ ・・・評価対象年度

- ③・苦情への対応としては、電話での問い合わせが1件あり、丁寧な対応を行ったことで、苦情者の理解を得ることができた。

- ④・利用者への情報提供としては、ホームページでの施設案内に加え、館内掲示による利用料金や施設案内の周知、補修工事に伴う安全対策等の表示を行った。また、火葬予約時や来場時には葬祭事業者への事前打合せを行い、使用炉変更や待合スペースを含む施設の使用制限等の情報提供を行った。
- ⑤・サービスの質の向上については、各種マニュアルの整備、OJT による指導に加え、各種研修(責任者研修(全国)、基本研修(新入社員)、技術研修(職員全員))を実施した。
- ・マニュアルについては、通常の『基本業務マニュアル』に加え、メンテナンスに特化した『施設設備メンテナンスマニュアル』や『安全対策マニュアル』といったものまで合計11整備している。これらは、会社共通のものをベースとしつつ、各斎場の実態に即して見直ししているため、業務の統一性と実効性が向上し、安定した運営に寄与している。
 - ・個人面談を通じて職員一人ひとりの業務状況や課題を把握し、必要な助言や支援につなげるとともに、「コミュニケーションシート」を用いたセルフモニタリングにより、各職員が自身の業務を振り返る機会を設けた。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

評価レベル
(0～5)

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

4

【評価の理由、要因・原因分析】

- ①・斎場のガス使用量のうち、約74%を占める火葬炉運転の効率的な運用を図るにあたり、火葬炉メーカーと合同で火葬炉技術研修を実施している。火葬炉設備の構造や仕組みについて理解を深めることで低燃費運転に努めるとともに、日々の適切な保守メンテナンスを徹底した結果、ガス使用量を前年度比で約6.4%削減した。
- ・また、同じく斎場のガス使用量のうち、約17%を占める空調設備(吸収式冷温水機)について、設定温度見直しや、未使用時間帯の運転管理を徹底した結果、総運転時間は前年度比で約8.8%短縮、ガス使用量は約9.8%削減した。
 - ・職務室のエアコン、照明、洗濯機の使用頻度の調整により、電気使用量は前年比の約4.6%、水道使用量は前年比の約12.2%を低減することができた。

【火葬炉設備のガス使用量について】

単位	R6年度 (指定管理導入前)	R7年度	前年比
火葬件数(件)	7,038	6,755	-4%
総運転時間(分)	440,459	419,379	-4.8%
ガス使用量(m ³)	245,123	229,336	-6.4%
火葬1件あたりのガス使用量(m ³)	34.82	33.95	-2.5%

※ ・・・評価対象年度

【吸収式冷温水機のガス使用量について】

単位	令和6年度 (指定管理導入前)	令和7年度	前年比
総運転時間(分)	126,750	115,563	-8.8%
ガス使用量(m³)	58,640	52,875	-9.8%

※ ・・・評価対象年度

【斎場全体の水光熱使用量について】

単位	令和6年度 (指定管理導入前)	令和7年度	前年比
ガ ス(m³)	331,002	306,625	-7.4%
電 気(kwh)	582,232	555,659	-4.6%
水 道(m³)	2,692	2,363	-12.2%

※ ・・・評価対象年度

- ②・清掃、警備、設備保守点検については、従前からの地元業者による委託先を活用し、安定した管理体制を維持した。指定管理施設管理の仕様書に則り、計画的に保守メンテナンスを実施した。
- ③・経費の低減に向けて、場内外の除草、落ち葉除去、日常清掃の一部及び日常点検を自主的に実施し、施設環境の維持と設備不良の早期発見に努めた。
- ・日常点検チェックシートに基づき、建築、火葬炉設備、電気設備、空調設備、衛生設備、消防設備等の確認を行うことで、軽微な不具合を早期に把握し、重大な修繕に至る前の対応につなげ、修繕費用の抑制に寄与した。

(単位：千円)

【支 出】		R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)
人件費	計画	58,800	58,800	58,800	58,800	58,800
	実績	58,800				
施設維持 管理費	計画	15,410	15,410	15,410	15,410	15,410
	実績	15,569				
その他管 理運営費	計画	5,185	5,185	5,185	5,185	5,185
	実績	4,114				
一般管理 費等	計画	2,505	1,205	1,205	1,205	1,205
	実績	2,638				
消費税	計画	8,190	8,060	8,060	8,060	8,060
	実績	8,112				

計	計画	90,090	88,660	88,660	88,660	88,660
	実績	89,233				

※ ☐・・・評価対象年度

指定管理者制度を導入して1年目のため、令和6年度以前の経費は掲載していない。

(単位：千円)

【うち修繕費】	R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)
計画	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績	598				

※ ☐・・・評価対象年度

(2) 収入の増加

評価レベル
(0～5)

① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

—

【評価の理由、要因・原因分析】

・本施設は利用促進施設ではないため、収入の増加を評価対象としていない。

(単位：千円)

【収 入】		R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)
指定管理料収入	計画	89,450	88,020	88,020	88,020	88,020
	実績	89,450				
自主事業収益還元	計画	640	640	640	640	640
	実績	640				
計	計画	90,090	88,660	88,660	88,660	88,660
	実績	90,090				

【参考：使用料収入】

(単位：千円)

【収 入】		R7年度 (1年目)	R8年度 (2年目)	R9年度 (3年目)	R10年度 (4年目)	R11年度 (5年目)
使用料収入	計画	—	—	—	—	—
	実績	103,183				

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み																													
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況		評価レベル (0～5)																											
① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。 ② 職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。 ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 ④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。		4																											
【評価の理由、要因・原因分析】 ①・受付事務には直営時からの経験者を配置し、これまでの知識を他職員へ共有する体制を整えた。また、斎場長には直営時の元火葬業務責任者、副斎場長には同じく元火葬業務副責任者を配置するなど、経験豊富な職員を適所に配置している。 ②・職員の資質向上を図るため、以下の研修等を行った。弊社では、全国 9 カ所の拠点に営業管理部を設け、その統括のためにエリアマネージャーを配置している。その強みを活かし、近隣斎場での他斎場研修を促進することで、業務の平準化とサービスの向上、更には有事の際のバックアップ体制を構築している。																													
【R7 年度研修実績について】																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>対象</th><th>頻度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業務ミーティング</td><td>全員</td><td>月 3 回</td></tr> <tr> <td>個人面談</td><td>全員</td><td>年 2 回</td></tr> <tr> <td>コンプライアンス研修</td><td>全員</td><td>年 1 回</td></tr> <tr> <td>火葬炉技術研修</td><td>火葬業務員</td><td>年 1 回</td></tr> <tr> <td>責任者研修</td><td>斎場長、副斎場長、 火葬業務責任者、 火葬業務副責任者</td><td>年 1 回</td></tr> <tr> <td>セルフモニタリング研修</td><td>全員</td><td>年 1 回</td></tr> <tr> <td>新人研修</td><td>新人職員</td><td>随時</td></tr> <tr> <td>他地域で自社が運営している斎場への相互派遣研修</td><td>希望者 (合計 23 人)</td><td>年 13 回</td></tr> </tbody> </table>			名称	対象	頻度	業務ミーティング	全員	月 3 回	個人面談	全員	年 2 回	コンプライアンス研修	全員	年 1 回	火葬炉技術研修	火葬業務員	年 1 回	責任者研修	斎場長、副斎場長、 火葬業務責任者、 火葬業務副責任者	年 1 回	セルフモニタリング研修	全員	年 1 回	新人研修	新人職員	随時	他地域で自社が運営している斎場への相互派遣研修	希望者 (合計 23 人)	年 13 回
名称	対象	頻度																											
業務ミーティング	全員	月 3 回																											
個人面談	全員	年 2 回																											
コンプライアンス研修	全員	年 1 回																											
火葬炉技術研修	火葬業務員	年 1 回																											
責任者研修	斎場長、副斎場長、 火葬業務責任者、 火葬業務副責任者	年 1 回																											
セルフモニタリング研修	全員	年 1 回																											
新人研修	新人職員	随時																											
他地域で自社が運営している斎場への相互派遣研修	希望者 (合計 23 人)	年 13 回																											
③・地域貢献としては、近隣の霊園墓地を利用する市民の通行妨げの解消を目的として、斎場周辺道路の清掃や草木の除去を定期的に行っている。 ・自主事業で行っている自販機設置については、収益の一部を北九州市社会福祉協議会へ寄付している。また、同じく自主事業であるレストラン経営については、その運営を地場企業へ委託している。																													
④・所管課による維持管理モニタリング(年2回)の結果については、即座に改善を図り、施設の適切な維持管理を行った。																													

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	評価レベル (0～5)
① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。	3
② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。	
③ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。	
④ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	
⑤ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	
⑥ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。	
⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。	
[評価の理由、要因・原因分析]	
①・個人情報保護については、ISO27001(情報セキュリティマネジメント)の認証を受けており、年3回の内部監査や、認証会社による外部監査を年1回実施した。 ・個人情報漏洩防止マニュアルを作成し、書類の施錠管理、不要書類の適切な廃棄処分、内部監査等を実施し、情報管理体制の維持に努めた。	
②・利用者の平等利用に関しては、予約システムの運用、FAXでの予約詳細の確認、電話での問い合わせ対応、窓口での受付事務を徹底し、適正に対応した。	
③・収支管理については、事務職員の収支管理、九州支店事務員による会計報告書の作成、本社経理部による再確認を行い、適正な管理を徹底した。また、自主事業を含む収支報告書は所定の期日までに市担当課へ提出し、遅延や漏れはなかった。	
④・安全対策については、業務前の服装確認や保護具の着用徹底、設備の保守点検状況の確認により、事故防止を図った。また、温湿度計の設置や熱中症対策用品の配布を行い、職員への熱中症対策を実施した。	
⑤・危機管理体制については、災害対応マニュアル及びBCP(事業継続計画)を作成するとともに、緊急連絡体制を整備した。 ・災害対応については、全館停電検査時(年1回)において、火葬中の停電を想定した非常用発電設備による運転訓練を実施するとともに、火災発生時のシナリオに基づく消防避難誘導訓練を行った。	
⑥・衛生管理及び感染症防止については、消毒液の設置、日常的な消毒作業、防護用品の常備により、利用者と職員の安全確保を図った。また、職員への健康診断、感染症予防接種の実施により、感染症防止対策を行った	
⑦・令和7年度は地震、洪水、停電を含む災害事故の発生はなかったが、平時より他斎場との相互研修を行うなど、事故や災害発生に備えた研修を実施している。	

【総合評価】

【全体的な評価・今後の対応等】

令和 7 年度は、ホームページ開設やフリーWi-Fi 整備、AED 設置などにより利用者の利便性と安全性の向上を図るとともに、環境美化活動や設備維持管理を通じて施設の快適性と機能性の維持に努めた。

また、利用者アンケートの回答数及び満足度は目標を上回り、利用者・葬祭事業者の双方から高い評価を得た。さらに、職員研修、安全管理体制、災害訓練等を継続的に実施し、安定的かつ安全な業務遂行体制を確保した。

全体として、現場の実情に即した改善を重ねながら、サービス水準の向上と効率的な施設運営の両立が図られており、良好な運営状況であったと評価する。

今後は、アンケート回収方法の工夫や、未実施となっているデジタルサイネージ運用、子ども図書館設置、小型モニター設置への対応を進めるとともに、火葬炉運転及び空調運用の最適化や計画的な修繕により、引き続きサービス水準の向上と効率的な施設運営に努める。

【評価レベル】

評価レベル		評価レベルの考え方
5	良 い	要求水準・目標・計画を大幅に上回り、特に優れた管理運営をおこなった
4		要求水準・目標・計画を上回り、優れた管理運営をおこなった
3	普 通	要求水準・目標・計画を満たしており、適正に管理運営をおこなった
2		要求水準・目標・計画を下回り、課題の残る管理運営となった
1		要求水準・目標・計画を大幅に下回り、大いに課題の残る管理運営となった
0	適切でない	不適切な管理運営となった

※この様式は外部にも公表する資料となります。